



木浦に“母”の記念館

田内さん夫妻 遺品や写真

県訪問団ら見学

【木浦＝藤枝武志本社記者】故・田内千鶴子さん＝高知市出身の生涯を伝える記念館が生誕100周年記念行事に合わせ、韓国・木浦市の孤児施設「木浦共生園」内にオープンした。誕生日の31日には県訪問団などが訪れ、同国で孤児3千人を育てた“母”に思いを寄せた。

(26面に関連記事)

「尹致浩(ユン・チホ)さんの写真には、「夫の田内千鶴子記念館」。行方不明や多くの子ども夫の尹さんと田内さんをたちの世話で最も大変な顕彰する施設はこれまで時期であったようだ」となく、同園が旧事務所をの説明が添えられた。改装。夫妻の遺品や年尹さんの戸籍の写し表、写真など約60点を展示した。

田内さんの品は、着て若松町」となっている。いた羽織や、1968年、田内さんの孫で園長の亡くなる3カ月前につづ鄭愛羅(チヨン・エラ)った病床日記など。眼鏡さん(50)は「資料を集めるうち、祖母がどんな思いで仕事をしたのかがあらためて伝わってきた。見に来た人に『良かった』と言われ、力になりました」と話していた。

田内千鶴子さんと夫、尹致浩さんに関する資料約60点を展示する記念館

(木浦市の木浦共生園)